

新規指導員養成講習会・選考試験の開催について

福島での指導員養成講座は7年ぶりでした。コロナの感染拡大の影響もあり、当初の日程より3ヶ月ほど遅れての開催となりました。

受験者は、福島・山形県を含め17名と定数を満たさない状況でしたが、東北ブロックの支援事業として、承認をいただいて無事開催することができました。少人数でしたが、みなさん指導員を目指し真剣に取り組んでいました。

まずは、4月29日に青少年会館の大研修室にて、技術認定グレード1のワルツ・タンゴ・ロンバ・チャチャチャ4種目の実技講習を実施しました。カウントの取り方や方向など、今まで気にしていなかったことをひとつひとつ確認しながら、リーダー役・パートナー役どちらもできるよう練習しました。

4月30日は、同第一研修室にて、机上講習を実施しました。テキストと模擬問題集で、短期集中で取り組んでいただきました。その後、5月22日には合同での実技勉強会、そのほかにも受験者それぞれが自主練習、問題集での学科勉強を経て、7月3日の選考試験となりました。

当日福島は最高気温36.8度の猛暑、会場のエアコンが使えないという悪条件でしたが、受験者は苦情を言うことも無く、黙々と机上試験と実技試験に取り組んで頂きました。実技試験の後には、本部から派遣された審査員村上さんからの初心者指導の際のワンポイントアドバイスもあり、受験者は真剣に耳を傾けていました。良い経験になったと思います。最後の面接試験では、それぞれのダンスに対する、取組みや指導員としての役割と心得これからの目標などを聞かせて頂きました。受験者皆様の高い意識や意気込みを持って取り組んでいることを聞かせて頂き感心すると共に、主管県として実施できたことに改めて感謝申し上げたいと思いました。

指導員の勉強を取組むことにより「JDSFの組織活動をよく理解でき、正しいダンスの知識を得ることができた。」との声を多く聞きました。今回の経験は、受験者同士での意見交換や励まし合いなど交流も深まり、良い機会になったと思います。合格した暁には、これからのダンス界そしてJDSFの発展に、お力添えを頂ける貴重な人材と考えています。

最後に、今回受験できなかった方も今後JDSF公認指導員そして、日本スポーツ協会のJSPOコーチなど目指す目標は沢山あります。健康・アンチエイジング含め、ダンスが益々発展するよう挑戦と努力を積み重ね、みんなで活動を盛り上げて行きましょう。

